

目 次

I.	総会	
1)	2019年度定時総会	2
2)	2019年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
1)	理事会審議議題	6
2)	会員定例会審議議題	9
3)	宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会 総務・経理合同部会、国際部会の開催	11
4)	外国映画通関連絡協議会の開催	12
5)	外画宣伝部長会の開催	12
III.	主な事業活動の報告	
1)	外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びに その公表等の広報活動に関する事業	12
2)	外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に 寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	12
3)	国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、 普及促進、保存及び特殊上映に関する事	15
4)	外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び 最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の 開催に関する事業	17
5)	映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び 開催に関する事業	18
6)	輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護 に関する事業	19
7)	前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために 必要な事業	20
IV.	新型コロナウイルス感染拡大による影響	20

別添各種資料

外画概況<国別>

外画概況<会社別>

作品目録

一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

I. 総会

1) 2019年度定時総会

2019年度定時総会が以下の通り行われた。

開催日時： 2019年6月7日 午後1時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

平成30年度（2018年度）事業報告、決算報告ならびに平成31年度（2019年度）事業計画、収支予算は承認可決された。

理事の任期満了に伴い、理事大角正、理事佐野真之、理事吉原豊、理事村田嘉邦、理事大林克己、理事升本喜郎の6氏の選任が承認された。

理事大藏満彦、理事和崎信哉の任期満了による退任に伴い、小林力、田中晃の2氏の理事就任が承認された。

監事の任期満了に伴い、監事柳澤義一の監事就任が承認された。

監事八代英彦の任期満了による退任に伴い、野久尾悟の監事就任が承認された。

2) 2019年度事業計画

2019年度事業計画は以下の通り

一般社団法人外国映画輸入配給協会が、2019年4月1日より2020年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下にある邦人系外国映画輸入配給業者を代表する国内唯一の公的機関として、本年も外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動にあたっていく。また一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を諮り、映画産業全体の発展に寄与していく。

(1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年度に配給公開された輸入外国映画の年度別統計一覧資料を作成し、ウェブサイト（日本語・英語）上で広く公表を行っていく。

①年間外国映画統計資料

平成元年より各年に配給公開された輸入外国映画作品について『外画概況』（国別・会社別）を作成。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当協会の公式ウェブサイト（日本語・英語）並びに各メディアを通じて公表。日本国内をはじめ海外からの要請並びに問い合わせにも対応し、広報活動に努める。また外国映画の年間興行成績の調査に関しても配給会社各社から直接の聞き取り調査により、年間興行収入ベストテンに関しては公表し、メディア他の調査に協力する。

(2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳格な審査により認められた団体、法人、人物に対して各賞を授与し、メディアを通して公表する。

優秀外国映画輸入配給賞

この賞は、年間を通じて作品の質が高くなおかつ新分野を開拓し、映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰している。評論家及び各メディアから選ばれた審査員8名が厳正な選考の上、最優秀賞を初めとして各賞を授与する。

(3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

広く国民を対象に輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について周知広報活動し、「さまざまな人に映画を届ける」を目標に特殊上映に関する活動を行う。

① トーキョーシネマショー

本協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業連合会とともに、外国映画振興のためのイベントを実施する。シンポジウム、トークショー、試写会を通じて劇場関係者およびマスコミに対して発信し、映画観客数の増加と日本の映画産業の発展に貢献することを目的とする。

② 「映画館に行こう！」実行委員会活動

本協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人映画製作者連盟及

びモーショントピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画関係4団体が、映画館で映画を見てもらう機会を増やそうと、「映画館に行こう！」キャンペーンとしてこれまで「夫婦50割引」「高校生友情プライス」等の入場割引サービス等を行ってきた。同実行委員会としては、より多くのファンが映画に触れる機会を増やすため、今年も新たなキャンペーンを実施する予定。さらに全国上映劇場の上映時間のデータベース化を促進しインターネット及びモバイル機器による上映時間検索システムを充実させていく他、YAHOO!との連携によりPCでの予告編サイトを拡充し、観客の利便性を向上させている。

映画人口2億人に向けた新企画として、2019年7月よりスタートした「映画ギフト」の利用者の増加に向けた告知・宣伝協力につき、映画業界全体で取り組む中、外画宣伝部長会の討議を通じて今後とも協力していく。

③ 優秀外国映画の保存

東京国立近代美術館国立映画アーカイブと協力し、会員各社が優秀外国映画を国民の文化財産として国立映画アーカイブに寄贈するよう努力する。

④ 副音声付等特殊上映

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に、視覚・聴覚に障害のある方々、あるいは高齢者の方々に配慮した環境の中で映画作品を上映する機会を設ける活動を続ける他、シンポジウム等を通じて必要性を訴える催しを後援していく。

(4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

アメリカを初めとする諸外国並びに国内の最新映画情報及び映像技術革新に対する研修会等を通じて、映画関係者のみならず広く一般の方々と情報共有を図り、国内の映画産業に資する事業を行う。

① 映画産業交流会

年1回モーショントピクチャー・アソシエーション(MPA)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作関係者の参加により、外国映画輸入配給事業の健全な発達及び、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として開催する。

② 映画技術革新セミナー

近年の映像デジタル化による技術革新情報の最新情報を共有すべくセミナー

の開催、技術研究会などに協力していく。

③ 外国映画通関連絡協議会研修会

当協会に事務局を置き、輸入通関業務及び映画技術の研究を行っている「外国映画通関連絡協議会」は毎年最新映像技術に関する研修会を開催しており、本年もこの研修会を通して映画関係者のみならず広く一般の方々に最新の映画・映像技術の情報を提供する。

⑤ 外画宣伝部長会

当協会に事務局を置き、当協会会員、映画製作者連盟加盟社およびモーショントピクチャー・アソシエーション(MP A)加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑かつ健全に行われるよう会議を開催しているほか、YAHOO! 予告編サイトの充実、マスコミ取材の調整、システムの維持・保全に加え、トーキョーシネマショー、優秀外国映画輸入配給賞、「映画館に行こう！」実行委員会キャンペーンなどのイベントを共同して行っていく。また本年7月からスタートした「映画ギフト」の実績の推移を見守りながら、顧客利便性の向上及び利用者の増加に向け宣伝・告知に協力していく。

(5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催への協力を行う。

① 各種映画祭

これまで東京国際映画祭を初め、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、あいち国際女性映画祭、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各種映画祭に対する後援及び実行協力を行っている。また「映画の日」等の映画各団体が実行する催事に協力し、さらに輸入外国映画を広く我が国の国民に紹介すべく、EUフィルムデーズ、フランス映画祭等海外の映画の紹介に協力する。

(6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

映画界のデジタル化に伴う様々な問題と劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。

① 映画盗撮防止対策

本年も映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対して被害を及ぼしていることに鑑み、映画盗撮防止に対する法律（平成19年法律第65号）第三条に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議する他、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE映画泥棒」キャンペーンと連携を取って映画盗撮防止対策を拡充推進していく。

② 会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取り対策会員各社からの問題提議に沿い、協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。

（7）前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

II. 理事会、会員定例会、部会、事業

1) 理事会審議議題

○第77回理事会（4月19日開催）

<審議・承認事項>

第76回（3月）理事会議事録承認の件

3月収支月次報告の件

平成30年度決算の件

2019年度事業計画の件

2019年度予算の件

後援名義申請の件

・映画感想文コンクール2019

・MPTE AWARDS 2019 第72回表彰式

任期満了理事・監事の件

<報告事項>

「映画上映規程」の協議確認書(2019年3月25日付文書)の件

その他

○第78回理事会（6月7日開催）

<審議・承認事項>

第77回（4月）理事会議事録承認の件

4月、5月収支月次報告の件
後援名義申請の件
・あいち国際女性映画祭 2019
・Japan Content Showcase 2019
・山形国際ドキュメンタリー映画祭 2019
正会員新規入会の件
2019年度理事選任の件
<報告事項>
トーキョーシネマショー2019の件
その他

○第79回理事会（7月19日開催）
<審議承認事項>
第78回理事会議事録承認の件
6月収支月次報告の件
後援名義申請の件
・第32回東京国際映画祭
・第11回京都ヒストリカ国際映画祭
JASRAC協議日程と分科会開催の件
<報告事項>
トーキョーシネマショー2019の件
第58回優秀外国映画輸入配給賞の件
その他

○第80回理事会（9月20日開催）
<審議・承認事項>
第79回（7月）理事会議事録承認の件
7月、8月収支月次報告の件
後援名義申請の件
・第15回山形国際ムービーフェスティバル2019
JASRAC協議並びに分科会報告の件
<報告事項>
トーキョーシネマショー2019終了報告の件
第58回優秀外国映画輸入配給賞の件
その他

○第81回理事会（10月18日開催）
<審議・承認事項>

第80回(9月)理事会議事録承認の件
9月月次収支報告の件
JASRACの件
<報告事項>
トーキョーシネマショー2019収支報告の件
2020年「年頭名刺交換会」の件
その他

○第82回理事会 (11月19日開催)

<審議・承認事項>
第81回(10月)理事会議事録承認の件
10月収支月次報告の件
第58回優秀外国映画輸入配給賞「審査要項」検討の件
・映画館に行こう実行委員会における「映画の定義」について
・NETFLIX作品の取り扱いと外配賞選考基準についての考え方
<報告事項>
令和2年(2020年)年頭名刺交換会の件
その他

○第83回理事会 (2020年1月21日開催)

<審議・承認事項>
第82回(11月)理事会議事録承認の件
11月、12月収支月次報告の件
後援名義申請の件
・第15回大阪アジア映画祭
第58回優秀外国映画輸入配給賞の件
<報告事項>
令和2年(2020年)年頭名刺交換会終了報告の件
JASRAC協議日程他報告の件
その他

○第84回理事会 (2020年2月18日開催)

◆2020年度のTIFFCOMの取り組みについて

出席者：経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課 統括補佐 佐野正太郎様
公益財団法人ユニジャパン 副理事長 椎名 保氏
公益財団法人ユニジャパン TIFFCOM事業部 C00 松本 浩氏

<審議・承認事項>

第83回（1月）理事会議事録承認の件
1月収支月次報告の件
JASRAC協議報告の件
＜報告事項＞
第58回優秀外国映画輸入配給賞の件
その他

○第85回理事会（2020年3月17日開催）
＜審議・承認事項＞
第84回（2月）理事会議事録承認の件
2月収支月次報告の件
2019年度仮決算の件
2020年度事業計画案の件
後援名義申請の件
第12回沖縄国際映画祭
＜報告事項＞
第58回優秀外国映画輸入配給賞審査結果報告の件
その他

2) 会員定例会審議議題

○4月会員定例会（4月19日開催）
3月会員定例会議事録承認の件
3月事業報告承認の件
平成30年度決算の件
2019年度事業計画の件
2019年度収支予算書の件
その他

○6月会員定例会（6月7日開催）
4月会員定例会議事録承認の件
4月、5月事業報告承認の件
トーキョーシネマショー2019（案）の件
その他

○7月会員定例会（7月19日開催）
6月会員定例会議事録承認の件
6月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2019の件
本年度定例会合開催日変更の件
その他

○9月会員定例会（9月20日開催）

◆Japan Content Showcase 2019 について

公益財団法人ユニジャパン TIFFCOM 事業ディレクター 松本 浩 氏

◆第32回東京国際映画祭概要について

公益財団法人ユニジャパン事務局長兼

東京国際映画祭 事務局長 都島 信成 氏

7月会員定例会議事録承認の件

7月、8月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2019終了報告の件

第58回優秀外国映画輸入配給賞の件

JASRAC申請について

その他

○10月会員定例会（10月18日開催）

9月会員定例会議事録承認の件

9月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2019終了報告の件

2020年「年頭名刺交換会」の件

その他

○11月会員定例会（11月19日開催）

第32回東京国際映画祭終了報告の件

公益財団法人ユニジャパン事務局長兼

東京国際映画祭 事務局長 都島 信成 氏

10月会員定例会議事録承認の件

10月事業報告承認の件

令和2年(2020年)年頭名刺交換会の件

その他

○1月会員定例会（1月21日開催）

11月会員定例会議事録承認の件

11月、12月事業報告承認の件

令和2年(2020年)年頭名刺交換会終了の件

2019年外面概況の件
その他（「第64回映画の日」パンフレット）

- 2月会員定例会（2月18日開催）
 - 1月会員定例会議事録承認の件
 - 1月事業報告承認の件
 - 第58回優秀外国映画輸入配給賞の件
 - その他

- 3月会員定例会（3月17日開催予定）
 - ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会
 - <予定議題>
 - 2月会員定例会議事録承認の件
 - 2月事業報告承認の件
 - 2019年度仮決算の件
 - 2020年度事業計画案の件
 - その他

- 3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会の開催
理事会の承認のもとに以下の部会に於いて、事業計画推進・協会運営のため
の一般会議が行われた。

- 宣伝部会
 - ※2020年3月の部会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会
 - 3回（9月26日、11月26日、1月29日）

- 営業部会
 - ※2020年3月の部会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会
 - 4回（9月25日、11月26日、1月29日）
 - 年末懇親会（12月18日）

- 製作＝渉外部会
 - ※2020年3月の部会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会
 - 4回（9月27日、10月25日、11月27日、1月30日）

- 総務・経理合同部会
 - ※2020年3月の部会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会
 - 3回（9月26日、11月28日、1月17日）

4) 外国映画通関連絡協議会の開催

4回（4月9日、9月27日、11月27日、1月30日）
年末懇親会（12月5日）

5) 外画宣伝部長会の開催

※2020年3月の部会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

8回（4月23日、6月12日、7月24日、9月26日、11月26日、
12月16日、1月29日）
年末懇親会（12月16日）

Ⅲ. 主な事業活動の報告

1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

2019年外国映画作品目録を2020年1月に発行。2019年外画概況—国別・会社別—を7月(上半期)と1月に発行。作品目録ならびに外画概況を別添。なお、各種資料は完成後すぐに当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に使用されている。

2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第58回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度（1962年）から通商産業省（現経済産業省）の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」も2019年度で58回を迎えた。第58回同賞は2019年4月1日から2020年3月31日迄の1年間に作品の質が高く、なおかつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰するため、8名（別項表示）の審査員により審査が行われ、各賞が決定した。

概要は以下の通り

審査委員・運営委員合同会議は、10月4日(水)に開催され、第58回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施要項が承認された後、審査員が紹介され審査委員長は秋山登氏が引き続き就任され、8名の審査員により審査会を開催した。

審査員： 秋山登、大高宏雄、小菅昭彦、小林千穂、佐伯知紀、三浦理高、
村上光一、渡辺祥子（五十音順）

主 催： 一般社団法人外国映画輸入配給協会

後 援： 経済産業省

審査報告書

第1回審査会

第1回審査会は2月5日（水）午後12時より、日本映画製作者連盟会議室にて審査員8名出席のうえ開かれた。秋山審査委員長から審査の基本方針について説明が行われ、外国映画輸入配給協会が作成した2019年度「外国映画作品目録」を資料に、審査対象会社135社（当協会会員会社34社、MPA加盟会社4社、その他96社）を1社ずつ配給した全作品を検討し審議を行った結果、最終審査会には以下の12社が選ばれた。

- 株式会社キノフィルムズ
- ギャガ株式会社
- 株式会社ツイン
- 東宝株式会社
- 東宝東和株式会社
- ニューセレクト株式会社
- 有限会社ロングライド
- ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
- ワーナー ブラザース ジャパン合同会社
- 株式会社チャイルド・フィルム
- Netflix 株式会社
- 有限会社ビターズ・エンド

第2回審査会（最終審査会）

2月5日に行われた第1回審査会に続いて最終審査会は3月4日（水）午後12時より如水会館会議室において開かれた。第1回審査会で選ばれた12社の2019年4月から2020年3月末日までに公開された作品リストをもとに、秋山委員長他7名の審査員により各賞の推薦理由及びそれに対する徹底討議ののち、以下の審査結果に決定した。

<最優秀賞>

有限会社ビターズ・エンド

「パラサイト 半地下の家族」

「帰れないふたり」

受賞辞退。

<優秀賞>

○東宝東和株式会社

「1917 命をかけた伝令」

「イエスタデイ」

「キャッツ」

ザ・ビートルズへの愛着を率直に語りながら、そこに愛する世界に魅せられた青年の心情を気持ちよく塗りこめた「イエスタデイ」。海外の不評をはねのけ、舞台の人気に背中を押されて映画化作品の魅力を伝えた「キャッツ」。1600人の命が掛かる任務の重さ、人影の消えた戦場の不気味、その恐怖を計算しつくされた映像によって伝えた「1917 命をかけた伝令」。それぞれに違ったタイプの作品をその持ち味にふさわしい魅力を際立たせて観客の心をひきつけることに成功したことに対し高い評価が集まりました。

<優秀賞>

○有限会社ロングライド

「家族を想うとき」

「バイス」

「さらば愛しきアウトロー」

話題性の魅力が楽しめる「バイス」。今の社会を見通す鋭い視線を持つ映画作家ケン・ローチの一貫した姿勢に共感できる「家族を想うとき」。質の高さだけでなく、映画ファンの心情を掴んだ「さらば愛しきアウトロー」など、買い付けの選択眼の良さと柔軟な姿勢が結果として成果を上げていることに対し賞賛が集まりました。

<奨励賞>

○株式会社チャイルド・フィルム

「ディリリとパリの時間旅行」

「エセルとアーネスト ふたりの物語」

子供の心の成長を助け、時に寄り添うことを心掛けているような作品の選択。洗練された絵の美しさが魅力的で、時代の雰囲気良く伝わる「ディリリとパリの時間旅行」。「スノーマン」で有名なレイモンド・ブリッグスが両親を題材に、彼らを通して描かれる第2次大戦下英国の庶民の普通の生活を描いて心にしみる「エセルとアーネスト ふたりの物語」。子供より実は大人が見ても心にしみて忘れがたい良質な作品であり、誰が見ても心に焼き付いて忘れられない作品選択の成功に高い評価が集まりました。

授賞式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため時期は未定となった。

2. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会（9回）に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体事務局長連絡会議に出席、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第64回「映画の日」運営に協力した。

第64回「映画の日」永年勤続功労章受賞者（当協会推薦者）は以下の通り。

氏名	会社名	役職名
伊藤 勝徳	東京テアトル(株)映像事業部営業部	シニアマネージャー
武田 和	公益財団法人川喜多記念映画文化財団	代表理事
西川 泉	(株)ガル・エンタープライズ	取締役プロデューサー

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー」の開催

24回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は「トーキョーシネマショー2019」として以下の通り開催された。

会期：9月18日（水）

会場：イイノホール

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

共催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）

一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会

後援：経済産業省

公益財団法人ユニジャパン

NPO法人映像産業振興機構

プログラム

○配給各社渾身のこの1本！<新作映像連続上映>（MCによる紹介）

各配給会社の秋以降公開の話題作の予告編・特典映像を上映

フリーアナウンサー 奈良禎子氏の作品紹介による進行

○「町山智浩のトークライブ4」

最新アメリカ映画レポート&トロント映画祭レポート

アメリカ、カリフォルニア州バークレー在住の映画評論家町山智浩氏による、最新のアメリカの映画事情や話題の新作映画、及び本年度トロント映画祭での注目作等のご紹介。

○懇親会

「渾身のこの1本！<新作映像連続上映>「町山智浩のトークライブ4」にご出席頂いた興行、配給関係者及びマスコミ関係者との懇親会が行われた。

*参加者全員に「ラインナップ・パンフレット」を配布

2. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資することを目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の2019年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

- ① 映画館での盗撮防止への継続的活動
- ② 上映時間データベース及び YAHOO! 予告編サイトの継続により観客の利便性の拡充を図った。
- ③ 本年度の目玉企画である、「映画ギフト」「ムビチケ当日券」を7月にスタートさせた。準備から実施に当たり宣伝告知の面で外画宣伝部長会を通じて「映画館に行こう！」実行委員会に協力してきた。映画観客の一層の増加を目指し本年も継続して、様々なカード保有者のポイントで映画を楽しんでもらうことや、失効してしまうポイントで映画鑑賞が可能になることの告知をより強化していくことが重要になっていくため、宣伝面強化のため一層の協力していくことになる。目標の映画人口2億人達成に向かって昨年からの新たな取り組みが始まっており、映画界への外部カード保有者の参加を一層進めていくように協力していく。

3. 国立映画アーカイブへのフィルム寄贈

当協会会員会社から東京国立近代美術館国立映画アーカイブに永久貸与された作品は0本であった。会員各社の作品契約の諸条件の中で、海外契約相手のプロデューサーからの賛同を得て日本(国立映画アーカイブ)にプリントを残す運動は、地道な活動ではあるが重要な仕事であると認識して各社が努力している。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

令和2年(2020年)1月6日(月)にモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の協力を得て日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者833名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発展を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺交換会」を開催した。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業35社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため定例会合を開催した他、年間を通じて主に以下のような活動を行った。

① 定例会合(年4回)

② 研修会

(1) 夏季研修会

日時: 2019年7月10日(水) 14時より16時30分

場所: IMAGICA 第1試写室

議題: 今すぐ役立つ「制作のツボ」シリーズ

第1部 字幕翻訳編 「字幕は世につれ」

講師: 翻訳家 石田 泰子 氏

第2部 吹替版制作編

講師: 吹替版ディレクター 中野 洋志 氏

第1部・第2部共に

聞き手: 外国映画通関連絡協議会理事長 鈴木 忍 氏

当日の参加者は72名であった。

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)加盟会社、映連加盟会社他、合計39社の宣伝部長で構成される宣伝部長会(9回)を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客数の増加に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力をした。また「映画館に行こう!」実行委員会で立ち上げた上映時間データベースやYAHOO!予告編サイトについて改良、改善に努め今後のキャンペーンに向けた情報収集等に協力している。本年度から改めてスタートする「映画館に行こう!」実行委員会への協力を中心に、映画観客数の増加に寄与すべく邦画・洋画の枠を超えた情報交換の場の提供や人的交流の促進を図るべく、外画宣伝部長会を通して積極的に活動して行くこととなった。昨年からはまった「映画ギフト」「ムビチケ当日券」企画も徐々に利用者が増加傾向にあるが、外部のカード保有者へ一層の浸透を図るため告知宣伝に協力し、

より浸透を図るべく討議参加や実行部隊としても積極的に行っていく。

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。
2. 第32回東京国際映画祭運営に協力し、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作に協力した。トーキョーシネマショーは第32回東京国際映画祭提携企画となった。

2019年度 外配協後援各種映画祭

映 画 祭	会 期	会 場
新・午前十時の映画祭10 —FINAL	2019年4月 5日(金)～ 2020年3月26日(木)	全国58の映画劇場
～島ぜんぶでおーきな祭～ 第11回沖縄国際映画祭	2019年 4月18日(木) ～ 4月21日(日)	沖縄県那覇市、波の上うみ そら公園、国際通り周辺、新 都市公園、北中城村、他
SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 2019	2019年 7月13日(土) ～ 7月21日(日)	SKIPシティ 他
あいち国際女性映画祭 2019	2019年 9月 4日(水) ～ 9月 8日(日)	ウィルあいち・ミッドラン ドスクエアシネマ 他
映画感想文コンクール 2019	2019年 7月初旬 ～9月13日(募集)	キネマ旬報社主催 2020年2月11日表彰式
MPTE AWARDS 2019	2019年10月31日(木)	六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム
山形国際ドキュメンタリー 映画祭2019	2019年10月10日(木) ～10月17日(木)	山形市中央公民館、山形市 民会館、市内映画館他
Japan Content Showcase2019	2019年10月22日(火) ～10月30日(水)内6日間	サンシャインシティ コン ベンションセンター エクセルホテル東急(渋谷)

第32回 東京国際映画祭	2019年10月28日(月) ～11月5日(火)	六本木ヒルズ 他
第11回 京都ヒストリカ映画祭	2019年10月26日(土) ～11月4日(月・祝)	京都文化博物館 他
第15回 山形国際ムービー フェスティバル2019	2019年11月8日(金) ～11月10日(日)	MOVIE ON 山形
第15回 大阪アジア映画祭	2020年3月6日(金) ～3月15日(日)	ABCホール(福島) シネリーブル梅田(梅田) 梅田ブルク7(梅田)

3. 各種映画賞運営に協力

第43回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第74回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。東京映画記者会主催第62回「ブルーリボン賞」に後援者として協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう!」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。平成22年1月および23年1月からは著作権法一部改正があり、ダウンロードに関しても厳しい対応となったことからCMのリニューアルを行い、キャンペーンを継続している。このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。2011年以降一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)と全国興行生活衛生同業組合連合会の間で協議を重ねている「JASRAC会議」では、JASRACの管理楽曲の映画における上映使用料規程改定交渉が行われており、毎回オブザーバーとして参加し全興連と共同歩調を取って意見を述べてきた。今後と

も公平な負担と現状の使用料維持を求めると共に、映画業界全体としてこの問題の解決に向かって各関連団体との協議を重ねていく。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

IV. 新型コロナウイルス感染拡大による影響について

2020年1月22日の報道により、中国湖北省武漢における新型コロナウイルス感染症の発生が伝えられた。その時点で日本は1人の感染が確認され、その後世界中の国々での発症例が確認され日を追うごとにその数は驚異的な速さで拡大してきた。感染が人の口からの飛沫によることで伝染していくため、マスクの着用は元より手洗い咳エチケットの普及と共に、人と人との接触を減らすことが感染拡大を防ぐ手段として有効であるとの認識が深まり、人の集まる場所や換気の悪い密閉された空間に大勢で集まり飲食・会話することが避けられるようになってきた。2月にはいわゆる3密（密集・密閉・密接）を避けるようマスコミをはじめ国や地方公共団体からアナウンスされることが多くなった。企業においても時差出勤・時短勤務をはじめリモートワーク・在宅勤務を採用する会社が急速に増えてきた。又、小・中学校をはじめ多くの教育機関で休校措置を取るところが相次ぎ、そのまま全国ほとんどの地域で春休み明けの新学期まで休校のままとなり、幼稚園・学童保育をはじめ家庭内での自粛を求められた子供たちへの影響が親の働き方にも影響し、社会全体にも大きな問題を投げかけることとなった。2020年最大のイベントである東京オリンピックの開催も、新型コロナウイルス感染拡大による影響が世界中に及んでいることや、日本国内もいつ感染のピークを迎えいつ収束するのか全く予測できない状況となり、様々な議論を経て1年間の延期を決定した。混雑する公共交通機関の利用を避け、人の多く集まる場所に行かず出来るだけ人との接触機会を減らすことを当分の間求められることになっていった。業界内でも、配給側では大きな興行の山となる春休み、ゴールデンウィークを前に感染拡大の恐れと観客に対する影響やイメージ等様々な要素の中で、春休み作品の目玉である「ドラえもん」の公開時期延期発表を皮切りに、予定されていた新作の公開延期が邦画・洋画を問わず相次いだ。毎年春休みに多くの観客動員実績のあるシリーズ作品や最新の洋画話題作・ディズニーアニメ作品等本来であれば春興行を大いに賑わせていたはずの新作から単館公開予定の秀作・佳作に至るまでが軒並み公開延期や見合わせとなったことも含めて映画を取り巻く環境が徐々に厳しさを増していった。

一方興行側でも2月下旬の文化村ル・シネマ次いで岩波ホールが休館したことを皮切りに、3月上旬に大阪のライブハウスにおけるクラスター発生のニュースが流れるに至り、その近隣の映画館から休館の動きが徐々に広がり全国的に波及していった。新作が公開されなくなってきた中、ロングラン作品や旧作上映で観客を繋ぎとめてきた映画館でも、感染拡大防止対策を取りながらの営業が徐々に限界に近付きつつあった。3月28日の東京都知事による週末の不要不急の外出自粛要請が出るに至り首都圏や近畿圏等5大都市の大手シネコンをはじめとした映画館が営業自粛状態となり全

国に波及していくことになった。全国的に映画館で映画を観られない稀有な春休みを迎えることとなり、映画館の全国の興行収入は、前年比で3月は約70%減となった。外配協においても、3月には会員定例会をはじめ全ての部会が中止・延期となり、主催の顕彰事業として行っている第58回「優秀外国映画輸入配給賞」の授賞式も当初予定していた4月22日を見送り、開催可能時期を探りながら実施することを前提に日程調整を図ることとなった。又、外国映画通関連絡協議会の総会をはじめ定例会合を延期した上、創立60周年記念行事も延期せざるを得なくなった。

以上